

●1分で見える世界景気／2017年11月末から見た12月動向

※世界的に地政学、政治リスクはありつつも、生産、雇用回復傾向、低インフレの適温状況へ、日本はチャンスを活かせるか？

欧
州

英国/EU離脱交渉、続く

12/4のメイ首相とユンケル委員長会談日ギリミットか

・10月消費者物価+3.1% (ポンド安の影響)

・オーストリア下院選 右派勝利

・スペイン、カタルーニャ州独立問題一服か

ドイツ

・7-9月GDP成長率+0.8%

・メルケル首相政治リスクくすぶる

・EU7-9月GDP+0.6%

(年換算+2.6%)

雇用底堅く

欧州中銀

経済見通し改善で

金融緩和縮小決定

・月額600億ユーロ買入れ→300億ユーロへ

・期間を17年12月末→18年9月末まで延長

新興国 資源価格底入れで回復の兆しが

●ブラジル/2017年GDP予想+0.7%、18年の見通しは+2.3%

●シンガポール/7-9月GDP+4.6%

●1-9月 東南アジア新車販売台数増加 前年同期比+5%

(タイ、フィリピン牽引)

中国

10月

穏やかな減速傾向続く

- ・固定資産投資 7.3% (9月7.5%)
- ・不動産販売面積8.2% (9月10.3%)
- ・社会消費品小売総額10% (10.3%)
- ・輸出6.9% (9月8.1%)
- ・工業製品6.2% (9月6.6%)

トランプ政権

米国

好調な景気を背景に施策をどこまで実行できるか

共和党内で減税案まとまる (法人税35%→20%)

地政学リスク

景気好調

7-9月GDP+3.0% (前期比年率換算)

11月雇用減+22.8万人、11月失業率4.1%

11月新車販売+0.9% (前年同月比)

F R B パウエル新議長

雇用好調で来月利上げか

日本

経済堅調、雇用改善

・10月新車販売台数 前年同月比▲1.7% (日産自動車の影響)

・9月訪日客228万人 (前年同月比+18.9%) 9月では最高を記録
10月失業率2.8%横ばい

海外景気回復

雇用・設備投資・訪日客等好調

グレートモデレーションか？ (大安定)

●日銀 緩和維持決定

金融緩和が量から金利へ

①短期金利 (-0.1%) ②長期金利を0%へ誘導決定

世界的にマネーは潤沢、低インフレ、生産回復、雇用回復の傾向
但し、地政学リスク、政治リスクあり

緩和マネー